防波堤や防波護岸等の整備により、越波を軽減し漁船被害を回避する

5か年加速化対策

災害時の効果発揮事例

国土強靱化 NATIONAL RESILIENCE

【対策】7　漁港施設の耐震・耐津波・耐浪化等の対策

対策概要：大規模地震・津波による甚大な被害が予測される地域の拠点的漁港における防波堤、岸壁等の耐震・耐津波化や、近年激甚化する台風・低気圧対策として防波堤等の耐浪化、越波対策、浸水対策、防風施設の設置による防風対策、被災後の水産業の早期回復のための電源確保対策や避難にも資する人工地盤の整備及びこれらの漁港施設の長寿命化対策を推進する。

府省庁名：農林水産省

【事例】水産生産基盤整備事業

- 実施主体：宮崎県
- 実施場所：宮崎県児湯郡川南町
- 事業概要：川南漁港は、台風の際に幾度となく越波・高波により多くの漁船が被害を受けている。激甚化する台風・低気圧等による越波・高波から漁港内及び漁港背後地の被害を軽減するため、防波堤や防波護岸の天端高を5.5mから7.0mまで嵩上げする整備を実施した。
- 事 業 費 ：約25億円
（うち5か年加速化対策（加速化・深化分）約5億円）
- 効　　果：令和4年台風14号が来襲した際には、整備が完了した防波堤・防波護岸により**漁港内への越波・高波の進入が抑えられ、港内の静穏性が向上し、漁船被害が大幅に軽減**した。

●令和4年台風14号では漁船被害が大幅に軽減

平成30年台風24号（最大瞬間風速37.9m/s）
漁船被害11隻（うち小型船8隻、中型船3隻）

→

令和4年台風14号（最大瞬間風速36.8m/s）
漁船被害2隻（小型船）

対策前

越波による浸水（平成23年台風12号）

港内へ高波の進入

対策後

北防波護岸（改良、かさ上げ）

防波堤（新設、粘り強い化）